

(2) 環境政策について

- ①地球温暖化防止施策をはじめとする環境政策については、行政のみならず、各種団体によって構成される地球温暖化対策地域協議会等を組織し、それによる包括的な取組みを検討すること。
- ②環境政策を推進するにあたっては、環境関連産業の取組みを支援するなど、産業政策との連携により、総合的な視点での調整を図ること。

(3) モータースポーツと地域活性化について

今年度のF1日本グランプリの開催結果を検証し、次年度以降の連続開催に向け取組むこと。また、F1以外の各種モータースポーツの振興も含めて、行政が関わる方向性を明確にすること。

(4) 交通安全について

交通事故の未然防止のため、運転マナーや技術の習得等について、鈴鹿サーキット交通教育センター等の教育研修機関の周知に努めること。

建設水道委員会

(1) 駅前整備と周辺区域の活性化について

- ①駅前整備は現在白子駅前広場整備事業が進行中であるが、市民及び周辺住民の理解と協力を得ながら、早期着工に努めることが望まれる。また、鈴鹿市の玄関口としてふさわしい交通ターミナル機能、広場機能、市民の交流・憩いの場としての機能を備え、利用する人すべてに優しい駅前広場及び周辺区域の整備に取り組むことが望まれる。
- ②将来的には、神戸・白子・平田と3つにわかれている鈴鹿市にとっては、富山市のような団子方式の利用も一つの有効な手段であると思われる。3つの拠点をそれぞれ団子とし、それらを串として結ぶ公共交通網の整備を検討することが望まれる。また、拠点と拠点を結ぶ沿線に人口を集中させるような施策を検討することが望まれる。

(2) 上下水道のあり方とビジョンの策定について

- ①鈴鹿市水道ビジョンについては、今後市民の意見を広く聴取し、必要であればビジョンの見直しを検討することが望まれる。そのためには市民の意見を広く聴取できる制度づくりの検討が望まれる。
- ②上水道事業のあり方としては、環境負荷の軽減を目的とし、小水力発電や太陽光発電の導入を検討することが望まれる。
- ③下水道ビジョンの策定については、三重県の流域別下水道整備総合計画との整合性を図りつつ、下水道ビジョンの策定を検討することが望まれる。
- ④下水道のあり方については、生活排水処理に関して、公共下水道のさらなる整備に取り組むと共に、合併処理浄化槽による生活排水処理等公共下水道に限らない様々な効率的な手法を検討することが望まれる。

(3) 新名神高速道路の取組みについて

市民及び地元自治会の意向を尊重すること。また、スマートインターチェンジの設置等、地域交通網の整備による渋滞緩和効果及び地域活性化による経済効果の両面から促進するよう働きかけ、早期着工に着手することが望まれる。なお、建設予定地は優良なお茶の産地であるため、農作物への影響を十分に調査することが望まれる。